

黒部都市計画区域マスタープラン(黒部都市計画整備、開発及び保全の方針)

現行（平成 25 年 3 月）	見直し案※赤字が能登半島地震前の変更箇所 青地が今回（能登半島地震を踏まえた）変更箇所
第 2 章黒部都市計画区域	第 2 章黒部都市計画区域
1 都市計画の目標	1 都市計画の目標
1) 都市づくりの基本理念	1) 都市づくりの基本理念
①現況と課題	①現況と課題
<p>本区域は富山県の北東部に位置し、黒部川の谷あいにある宇奈月温泉から広大な黒部川扇状地に広がる区域である。黒部川の電力や水を活用する数多くの企業が立地しており、県東部の工業拠点として発展してきた。黒部川扇状地には屋敷林を持つ農家が点在する散居村が広がり、また、宇奈月温泉や石田・黒部漁港、清水・湧水群など、豊かな自然を活かした多彩な観光資源や施設がある。</p> <p>人口は、近年減少傾向を示しているが、核家族化の進行もあって、世帯数は増加傾向を示している。</p> <p>土地利用については、既成市街地内で密集地域が存在している一方で、市街地周辺部でのスプロールや商業施設の郊外立地が進行しており、既成市街地内における快適な居住環境の整備と適正な土地利用の誘導が課題となっている。</p> <p>交通基盤に関しては、一般国道 8 号バイパスの整備が急務となっている。また、北陸新幹線新黒部駅（仮称）の整備が進められており、新駅へのアクセス道路の整備や、駅前広場の整備、乗継ぎのための富山地方鉄道本線の新駅など、公共交通を含めた交通ネットワークの構築と健全な市街地形成を支える都市基盤の整備が課題となっている。</p> <p>また、県内有数の工業都市である本区域は、金属製品製造業等を中心として発展してきたが、近年の景気低迷や生産拠点の移転などにより、伸び悩みがみられることから、産業基盤の整備や新たな企業の誘致、中小企業への支援が必要となっている。</p>	<p>本区域は、富山県の北東部に位置し、<u>3千m級の北アルプスの高峰から、秘境黒部峡谷とその雄大な自然を望む湯の街宇奈月温泉、清流黒部川の恩恵を受けた肥沃な里山地域、名水百選に認定されている黒部川扇状地湧水群、さらには、天然のいけすといわれる水深1千mの富山湾まで、比較的近距离の範囲内で、山・里・川・海が一体となった豊かな自然環境と観光資源を有する。</u></p> <p>人口は、近年減少傾向を示しているが、核家族化の進行もあって、世帯数は増加傾向を示している。</p> <p>土地利用については、<u>既成市街地の人口減少、低密度化が進む一方で、市街地周辺部での宅地化や商業施設の立地が進行しており、既成市街地内における快適な居住環境の整備を含めた適正な土地利用の誘導が課題となっている。</u></p> <p>交通基盤に関しては、<u>平成 27 年に開業した北陸新幹線黒部宇奈月温泉駅やあいの風とやま鉄道線、中心市街地と宇奈月温泉を結ぶ富山地方鉄道本線のこれら鉄道が公共交通網の基軸となっている。また、道路では、市内の主要幹線である一般国道 8 号入善黒部バイパスが 4 車線化整備中である。こうした鉄道の各駅と市内を結ぶ交通ネットワーク化が重要であり、利便性の高い交通ネットワークの構築と健全な市街地形成を支える都市基盤の整備が課題となっているほか、このほか、令和 6 年 1 月に発生した能登半島地震では、道路災害による通行止めや避難経路の渋滞などが発生したことから、被災時の確実な避難活動を支える交通基盤の整備が課題として顕在化した。一方、中心市街地においては、高齢者にも利用しやすい移動手段の検討するとともに、さらには、暮らしの足をより充実させる「出かけやすいまちづくり」の仕組みづくりも必要となっている。</u></p> <p>また、県内有数の工業地帯である本区域は、金属製品製造業を中心として発展してきたが、<u>近年は地球温暖化を起因とする環境に対する意識の高揚や、産業のグローバル化、飛躍的な技術革新などにより、環境への配慮、技術の高度化が求められる時代となっており、DX の推進や脱炭素化など新たな産業基盤の整備や、企業の誘致、中小企業への支援が必要となっている。</u></p>
②都市計画の基本理念	②都市計画の基本理念
<p>本区域が持つ豊かな自然環境やふるさとの歴史・生活・文化を有機的につなぎ、魅力ある都市づくりを推進するため、本区域の将来都市像及び都市づくりの基本理念を次のように掲げ</p>	<p>本区域が持つ豊かな自然環境やふるさとの歴史・生活・文化を有機的につなぎ、魅力ある都市づくりを推進するため、本区域の将来都市像及び都市づくりの基本理念を次のように掲げ</p>

<p>る。</p> <p>～人・水・緑がきらめく ふれあいのまち 黒部～</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 北陸新幹線新黒部駅（仮称）を交流拠点とした都市づくり ○ 地域の特性を活かした都市づくり ○ 交通ネットワークを活かした都市づくり ○ 安全で安心して暮らせる都市づくり ○ 自然と景観を活かす都市づくり 	<p>る。</p> <p>～<u>住民の参画と協働による魅力あるまちづくりとその見える化</u>～</p> <p><u>魅力創出に向けた取組を効果的に進め、検討状況を見える化しながら、住民の皆さんと一緒にまちづくりを考える。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ <u>交通ネットワークを活かした都市づくり</u> ○ <u>地域（山・里・川・海）の特性を活かした都市づくり</u> ○ 安全で安心して暮らせる都市づくり ○ <u>自然と共生し、景観に配慮した都市づくり</u>
<p>○北陸新幹線新黒部駅（仮称）を交流拠点とした都市づくり</p> <p>幹線道路や公共交通との円滑・快適な接続、周辺景観の誘導などにより、広域交通の新しい拠点にふさわしい都市づくりを進める。</p>	<p>○<u>交通ネットワークを活かした都市づくり</u></p> <p><u>幹線道路の整備や公共交通の充実により、それぞれの地域が有機的に連携し、コンパクトで魅力的な都市づくりを進める。</u></p>
<p>○地域の特性を活かした都市づくり</p> <p>本区域の変化に富んだ美しい自然や、多彩な歴史文化などの地域資源を活かし、個性的な都市づくりを進める。</p>	<p>○<u>地域（山・里・川・海）の特性を活かした都市づくり</u></p> <p><u>本区域の変化に富んだ美しい自然や、多彩な歴史文化などの地域資源を活かし、魅力的な都市づくりを進める。</u></p>
<p>○交通ネットワークを活かした都市づくり</p> <p>幹線道路の整備や公共交通の充実により、それぞれの地域が有機的に連携し、コンパクトで魅力的な都市づくりを進める。</p>	
<p>○安全で安心して暮らせる都市づくり</p> <p>都市災害への対応や公共公益施設のバリアフリー化などを推進し、安全・安心で快適な都市の実現に努める。</p>	<p>○安全で安心して暮らせる都市づくり</p> <p>都市災害への対応や公共公益施設のバリアフリー化などを推進し、安全・安心で快適な都市の実現に努める。</p>
<p>○自然と景観を活かす都市づくり</p> <p>本区域の雄大な自然と美しい景観を活かした魅力的な都市づくりに努める。</p>	<p>○<u>自然と共生し、景観に配慮した都市づくり</u></p> <p><u>本区域の豊かな自然を守るため、生物多様性を尊重しながら、保護・保全に取り組み、美しい景観に配慮した魅力的な都市づくりに努める。</u></p>
<p>2) 地域毎の市街地像</p>	<p>2) 地域毎の市街地像</p>
<p>本区域では、地形などの自然的条件、土地利用の状況、日常生活上の交流範囲等を踏まえ、区域内を3つの地域に区分し、それぞれ以下のように市街地像を設定する。</p>	<p>本区域では、地形などの自然的条件、土地利用の状況、日常生活上の交流範囲等を踏まえ、区域内を3つの地域に区分し、それぞれ以下のように市街地像を設定する。</p>
<p>① 扇状地ゾーン</p>	<p>① 扇状地ゾーン</p>
<p>黒部川扇状地の扇央部に位置し、東西と南北の交通軸が交差するなど、本区域の中心となる地域である。しかし、中心市街地である三日市地区においては、空洞化によるコミュニティの喪失や商業の活力低下が顕在化していることから、都市機能の更新や導入を進め、魅力的な市街地の形成に努めるとともに、市街地開発事業等により、良好な居住環境の創出を図る。</p> <p>また、荻生地区及び若栗地区においては、北陸新幹線新黒部駅（仮称）の整備が進められており、県東部の新たな玄関口として交通結節機能の充実に努める。</p>	<p>黒部川扇状地の扇央部に位置し、東西と南北の交通軸が交差するなど、本区域の中心となる地域である。しかし、中心市街地である三日市地区においては、<u>人口が減少するとともに、空き家や空き店舗が散在し、商業等の活力低下が顕在化している。このことから、居住誘導を集中的に進めると同時に、空き家や空き店舗の利活用を促進する。また、都市機能の更新や導入を図るとともに、中心市街地において、高齢者にも利用しやすい移動手段の検討によりし、暮らしの足を充実させ、出かけやすい、出かけて楽しい魅力的な市街地の形成に努める。</u></p> <p><u>また、鉄道駅周辺では、駅の利便性向上を図るための必要な施設整備を計画するとともに、駅周辺においては、適切な土地利用の推進に努める。</u></p>

<p>② 海辺ゾーン</p>	<p>②海辺ゾーン</p>
<p>黒部川扇状地の扇端部に位置し、海岸線に沿って既成市街地が形成されている地域である。また、JR黒部駅の西側やJR生地駅の南東において、大規模な工場が立地する工業地を有している。</p> <p>生地地区においては、今後とも黒部漁港を核とした特色のある経済活動を活かしていくとともに、密集市街地の改善や公園整備など、居住環境の整備に努める。また、美しい海岸線と漁港周辺の街並みの景観を保全し、歴史と風格を持つ漁業のまちを目指す。</p> <p>石田地区においては、既成市街地内の基盤整備を進め、臨海部における市街地として生活環境の向上を図る。また、地区内の石田フィッシャリーナを核に海洋レクリエーションの拠点としての機能を高めていく。</p>	<p>黒部川扇状地の扇端部に位置し、海岸線に沿って既成市街地が形成されている地域であり、JR黒部駅の西側やJR生地駅の南東において、大規模な工場が立地する工業地を有している。</p> <p>生地地区においては、今後とも黒部漁港を核とした特色のある経済活動を活かしていくとともに、<u>良好な居住環境の形成</u>に努める。また、美しい海岸線と漁港周辺の街並みの景観を保全し、歴史と風格を持つ漁業のまちを目指す。</p> <p>石田地区においては、既成市街地内の基盤整備を進め、臨海部における市街地として生活環境の向上を図る。また、地区内の石田フィッシャリーナを核に海洋レクリエーションの拠点としての機能を高めていく。<u>さらに、一般国道8号に面する交通利便性に優れた道の駅KOKOくるべ周辺は、地域振興に貢献する観光・交流・にぎわい拠点としての土地利用を図る。</u></p> <p><u>このほか、生地駅周辺では、地元振興会などが民間企業と連携し、まちづくり構想を進めており、地元や民間企業との適切な役割分担のもと、相互に連携しながら、適切な土地利用の推進を図る。</u></p>
<p>③ 山岳ゾーン</p>	<p>③山岳ゾーン</p>
<p>東西を急峻な山地に挟まれ峡谷地形の僅かな平坦地に形成された、県内最大規模の温泉地である宇奈月温泉地区を中心とする地域である。</p> <p>今後は、北陸新幹線開業による効果を十分に活かし、観光地としての魅力の向上を図るため、北陸新幹線新黒部駅（仮称）の乗継ぎの円滑化や、アクセス道路の強化、自然と調和した宇奈月温泉らしい街並み景観の創出等に努める。</p>	<p>東西を急峻な山地に挟まれ峡谷地形の僅かな平坦地に形成された、県内最大規模の温泉地である宇奈月温泉地区を中心とする地域である。</p> <p>今後は、北陸新幹線<u>金沢～敦賀間開業</u>や<u>黒部宇奈月キャニオンルート</u>の一般開放による効果を十分に活かし、観光地としての魅力<u>を高めながら</u>、北陸新幹線新黒部駅（仮称）の乗継ぎの円滑化や、アクセス道路の強化、自然と調和した宇奈月温泉らしい街並み景観の創出等に努める。</p>
<p>3) 目標年次</p>	<p>3) 目標年次</p>
<p>本章の基本理念・将来像は、おおむね20年後の都市の姿を展望するものとし、目標年次を平成43年とする。</p> <p>都市施設の整備などに関しては、おおむね10年後の将来を予測するものとし、目標年次を平成33年とする。</p>	<p>本章の基本理念・将来像は、おおむね20年後の都市の姿を展望するものとし、目標年次を<u>令和23(2041)年</u>とする。</p> <p>都市施設の整備などに関しては、おおむね10年後の将来を予測するものとし、目標年次を<u>令和13(2031)年</u>とする。</p>
<p>2 区域区分の決定の有無及び区域区分を定める際の方針</p>	<p>2 区域区分の決定の有無及び区域区分を定める際の方針</p>
<p>1) 区域区分の決定の有無</p>	<p>1) 区域区分の決定の有無</p>
<p>本都市計画に区域区分を定めない。なお、区域区分を定めなかった根拠は以下のとおりである。</p> <p>本区域の人口は平成17年現在42,616人であり、近年減少傾向にあり、今後もこの傾向が続くものと予想されている。ただし、これまで用途地域内においては人口が減少している一方で、用途地域が定められていない、いわゆる白地地域においては人口が増加しているため、用途地域内への人口誘導が課題となっている。</p> <p>このため、用途地域内においては、土地区画整理事業等による良好な市街地の形成と定住の促進に取り組まれてきたところであり、今後とも都市基盤の不十分な地域において整備を行</p>	<p>本都市計画に区域区分を定めない。なお、区域区分を定めなかった根拠は、<u>以下</u>のとおりである。</p> <p><u>平成27年現在39,443人で減少傾向にあり、用途地域内においても、また、用途地域が定められていない、いわゆる白地地域においても減少傾向にあり、今後もこの傾向が続くものと予想されている。</u></p> <p><u>これまで</u>、用途地域内においては、土地区画整理事業等による良好な市街地の形成と定住の促進に取り組まれてきたところであり、白地地域において<u>も</u>、地域にふさわしい建築形態規制の適用などにより、その保全に取り組まれているところである。</p>

<p>うなど、引き続きその推進が図られるものと見込まれている。</p> <p>また、白地地域においては、地域にふさわしい建築形態規制の適用などにより、その保全に取り組みられているところである。</p> <p>このように、本区域においては、今後人口の減少が予想され、用途地域への計画的な人口誘導への対処により、区域内の土地利用の整序を図ることが可能であることから、これまでどおり区域区分を定めないものとする。</p>	<p>このように、本区域においては、人口の減少が予想され、今後とも区域内の土地利用の整序を図ることが可能であることから、これまでどおり区域区分を定めないものとする。</p>
<p>3 主要な都市計画の決定の方針</p>	<p>3 主要な都市計画の決定の方針</p>
<p>1) 土地利用に関する主要な都市計画の決定の方針</p>	<p>1) 土地利用に関する主要な都市計画の決定の方針</p>
<p>① 主要用途の配置の方針</p>	<p>① 主要用途の配置の方針</p>
<p>近年、市街地の拡散が進み、既成市街地の中心部では空洞化が、また、周辺部では無秩序な宅地化がみられる。このため、三日市、生地、石田の各市街地においては、適正な用途地域を配置するなど、計画的な土地利用の整序を図る。</p> <p>なお、宇奈月温泉地区は、近年の土地利用状況を勘案し、当面、用途地域の指定は行わないこととするが、今後の開発動向や地区の特性を踏まえて、周辺の自然環境に調和した適正な土地利用を推進する。</p>	<p>近年、市街地の拡散により、既成市街地の中心部では空洞化が進み、周辺部では無秩序な宅地化がみられる。このため、三日市、生地及び石田地区の各市街地においては、適正な用途地域を配置するなど、計画的な土地利用の整序を図る。</p> <p>なお、宇奈月温泉地区は、近年の土地利用状況を勘案し、当面、用途地域の指定は行わないこととするが、今後の開発動向や地区の特性を踏まえて、周辺の自然環境に調和した適正な土地利用を推進する。</p>
<p>a 商業地</p>	<p>a 商業地</p>
<p>三日市地区については、黒部駅と一般国道8号を結ぶ道路沿いや、電鉄黒部駅前、東三日市駅周辺が既存の商業地であることから、今後も、都市機能の充実・集積を図り、本区域の核となる中心商業地の形成を図る。</p> <p>生地地区の既存商業地については、地区の生活に密着した商業地としての機能維持を図るとともに、黒部漁港周辺においては、観光型の魅力ある商業地として充実を図る。</p> <p>石田地区における電鉄石田駅前の既存商業地については、地区の生活に密着した商業地としての機能維持を図る。</p> <p>宇奈月温泉地区については、快適な歩行空間の確保や温泉街全体の良好な景観形成により、観光地としての魅力の向上を図る。</p>	<p>三日市地区の商業地については、黒部駅と県道魚津入善線を結ぶ道路沿いや、電鉄黒部駅前、東三日市駅周辺が既存の商業地であることから、今後も、都市機能の充実・集積を図り、本区域の核となる中心商業地の形成を図る。</p> <p>生地地区の既存商業地については、地区の生活に密着した商業地としての機能維持を図るとともに、黒部漁港周辺においては、観光型の魅力ある商業地として充実を図る。</p> <p>石田地区における電鉄石田駅などの商業地については、地区の生活に密着した商業地としての機能維持を図る。</p> <p>宇奈月温泉地区については、空店舗の利活用の確保や温泉街全体の良好な景観形成により、観光地としての魅力の向上を図る。</p>
<p>b 工業地</p>	<p>b 工業地</p>
<p>既に工業地域又は工業専用地域として用途地域が指定されている3地区や、黒部インターチェンジ周辺に立地する工場については、今後も工業地として位置づけ、工業基盤の整備や工場の集積を図る。</p> <p>なお、黒部駅に近接し、工業地としての利用が行われていない地区については、中心市街地の活性化に向け、地域住民や団体と協働しながら適切な土地利用を検討する。</p> <p>また、工業地周辺においては、環境への影響を考慮して緑地の確保に努める。</p>	<p>既に工業地域又は工業専用地域として用途地域が指定されている3地区や、黒部インターチェンジ周辺に立地する工場については、今後も工業地として位置付けは、工業基盤の整備や工場の集積を図る。さらにまた、一部未利用の新石田企業団地においては、企業の集積に努める。</p> <p>なお、黒部駅に近接し、工業地としての利用が行われていない地区については、中心市街地の活性化に向け、地域住民や関係団体と調整しながら適切な土地利用を検討する。</p> <p>また、工業地周辺においては、環境への影響を考慮して緑地の確保に努める。</p>
<p>c 住宅地</p>	<p>c 住宅地</p>
<p>既成市街地の商業地周辺からその外側にかけて住宅地を配置し、市街地における居住人口</p>	<p>既成市街地の商業地周辺からその外側にかけて住宅地を配置し、市街地における居住人口</p>

<p>の増加を図る。このうち、密集市街地や都市基盤の不十分な住宅地については、土地区画整理事業等を活用し、計画的な市街地形成を図る。</p> <p>新たな住宅需要に対しては、鉄道を中心としたまちづくりを進める観点から、鉄道駅やバス停周辺などを中心に立地誘導を図る。</p>	<p>の増加を図る。このうち、密集市街地や都市基盤の不十分な住宅地については、土地区画整理事業等を活用し、計画的な市街地形成を図る。</p> <p>新たな住宅需要に対しては、<u>コンパクトなまちづくりを進める観点から、黒部市立地適正化計画で設定した居住誘導区域</u>を中心に立地誘導を図る。</p>
<p>② 土地利用の方針</p>	<p>②土地利用の方針</p>
<p>a 土地の高度利用に関する方針</p>	<p>a 土地の高度利用に関する方針</p>
<p>三日市地区では、黒部駅前からの幹線道路沿いに商業地が形成されているが、近年は空き家・空き店舗が見られる等、活力の低下が顕在化していることから、商業、医療、文化、行政などの都市機能の充実・集積を図り、土地の高度利用を進めることで、魅力的な市街地の形成に努める。</p> <p>また、宇奈月温泉地区では、高容積の建築物が集積していることから、今後とも土地の高度利用を図り、魅力ある観光拠点の形成を図る。</p>	<p>三日市地区では、黒部駅前からの幹線道路沿いに商業地が形成されているが、近年は空き家・空き店舗が見られる等、活力の低下が顕在化していることから、<u>黒部市立地適正化計画に基づき</u>、商業、医療、文化、行政などの都市機能の充実・集積を図り、土地の高度利用を進めることで、<u>出かけやすい、出かけて楽しい</u>魅力的な市街地の形成に努める。</p> <p>また、宇奈月温泉地区では、高容積の建築物が集積していることから、今後とも土地の高度利用を図り、魅力ある観光拠点の形成を図る。</p>
<p>b 用途転換、用途純化又は用途の複合化に関する方針</p>	<p>b 用途転換、用途純化又は用途の複合化に関する方針</p>
<p>沿道型商業施設の立地がみられる一般国道8号の沿道においては、バイパス整備による交通の変化に伴い、沿道の土地利用の転換が予想されることから、周辺の居住環境と調和した用途への転換を図る。</p> <p>宇奈月温泉地区においては、温泉地にふさわしい環境を創出するため、必要に応じて地区計画等の活用を検討する。</p> <p>なお、住宅地周辺に立地する工場のうち、環境悪化の要因となっているものについては、可能な限り住居との分離を図るなど、住工混在の解消に努める。</p>	<p>沿道型商業施設の立地が<u>み見</u>られる<u>県道魚津入善線沿道等</u>においては、<u>一般国道8号入善黒部バイパス</u>整備による交通の変化に伴い、沿道の土地利用の転換が予想されることから、周辺の居住環境と調和した用途への転換を<u>検討する</u>。</p> <p>宇奈月温泉地区においては、温泉地にふさわしい環境を創出するため、必要に応じて地区計画等の活用を検討する。</p> <p>なお、住宅地周辺に立地する工場のうち、環境悪化の要因となっているものについては、可能な限り住居との分離を図るなど、住工混在の解消に努める。</p>
<p>c 居住環境の改善又は維持に関する方針</p>	<p>c 居住環境の改善又は維持に関する方針</p>
<p>木造住宅が密集している市街地部においては、土地区画整理事業等の実施や街区公園の整備などにより、防災性と居住環境の向上を図る。</p> <p>また、地域特性を活かした快適で魅力ある居住環境の形成を図るため、地区計画等の活用を検討する。</p>	<p>木造住宅が密集している市街地部においては、土地区画整理事業等の実施や<u>街区公園の整備など</u>により、防災性と居住環境の向上を図る。</p> <p>また、地域特性を活かした快適で魅力ある居住環境の形成を図るため、地区計画等の活用を検討する。</p>
<p>d 都市内の緑地又は都市の風致の維持に関する方針</p>	<p>d 都市内の緑地又は都市の風致の維持に関する方針</p>
<p>区域内には、黒部市総合公園や宮野運動公園、中ノ口緑地、黒部川緑地などの特色ある施設が点在しているほか、黒部川や段丘斜面など良好な緑地が存在している。</p> <p>これらは都市の貴重な自然環境であり、維持・保全に努める。</p>	<p><u>本区域内には、黒部市総合公園や宮野運動公園、中ノ口緑地、黒部川緑地など緑豊かな空間が配置され、市民の憩いの場となっている。</u>これらは、都市の貴重な自然環境であり、維持・保全に努める。<u>また、中心市街地の公園や散歩道について、適正な維持管理に努める。</u></p>
<p>e 優良な農地との健全な調和に関する方針</p>	<p>e 優良な農地との健全な調和に関する方針</p>
<p>市街地周辺部の農地については、住宅団地等の開発が進みつつあることから、積極的に優良農地の保全に努めるとともに、無秩序な市街化を防止し、都市と農村との調和を図る。</p>	<p>市街地周辺部の農地については、住宅団地等の開発が<u>進んでいる</u>ことから、積極的に優良農地の保全に努めるとともに、無秩序な市街化を防止し、都市と農村との調和を図る。</p>
<p>f 災害防止の観点から必要な市街化の抑制に関する方針</p>	<p>f 災害防止の観点から必要な市街化の抑制に関する方針</p>
<p>本区域には、上流域に急峻な山岳地を有する黒部川をはじめとして大小の河川が数多く存</p>	<p>本区域には、上流域に急峻な山岳地を有する黒部川をはじめとして大小の河川が数多く存</p>

<p>在し、自然災害の発生が懸念される。また、土石流危険渓流や急傾斜地崩壊危険箇所が多くあり、これら土砂災害危険箇所においては災害から住民の生命、財産を保護するため、対策施設の整備を進めるとともに、土砂災害防止法に基づく土砂災害特別警戒区域の指定等により開発の抑制に努める。</p>	<p>在し、自然災害の発生が懸念される。また、土石流危険渓流や急傾斜地崩壊危険箇所が多くあり、これら土砂災害危険箇所においては災害から住民の生命、財産を保護するため、対策施設の整備を進めるとともに、土砂災害防止法に基づく<u>土砂災害特別警戒区域等に指定された区域については、</u>開発の抑制に努める。</p> <p><u>また、本区域は黒部川等の流域に位置し、市街地の一部が浸水想定区域に含まれていることから、水災害に強い都市づくりの実現に向け、流域における保水や貯留機能の確保、立地適正化計画の防災指針に基づく取組等により、流域全体で水害を軽減させる「流域治水」を推進する。</u></p>
<p>g 自然環境形成の観点から必要な保全に関する方針</p>	<p>g 自然環境形成の観点から必要な保全に関する方針</p>
<p>黒部川とその流域に広がる扇状地には、貴重な自然と良好な田園景観が残されていることから、本区域の環境形成の核として、今後も保全に努めていく。</p>	<p>黒部川とその流域に広がる扇状地には、貴重な自然と良好な田園景観が残されていることから、本区域の環境形成の核として、今後も保全に努めていく。</p>
<p>h 計画的な都市的土地利用の実現に関する方針</p>	<p>h 計画的な都市的土地利用の実現に関する方針</p>
<p>北陸新幹線新黒部駅（仮称）及び黒部インターチェンジ周辺は、県東部の玄関口にふさわしい地域となるよう、景観に配慮するとともに、計画的な土地利用の実現を図るため、必要に応じて地区計画等の活用を検討する。</p> <p>更に、白地地域のうち無秩序な開発が進展する可能性のある土地についても、適正な土地利用コントロールを図るため、地区計画等の活用を検討する。</p>	<p><u>黒部宇奈月温泉駅及び北陸自動車道黒部インターチェンジ周辺は、県東部の玄関口にふさわしい地域となるよう、景観に配慮するとともに、適切な土地利用が図られるよう、必要に応じて地区計画等の活用を検討する。</u></p> <p><u>黒部駅及び生地駅周辺は、新たな都市的土地利用が予想されるため、適正な土地利用に努める。</u></p> <p><u>また、白地地域のうち、無秩序な開発が進展する可能性のある土地についても、適正な土地利用コントロールを図るため、地区計画等の活用を検討する。</u></p>
<p>2) 都市施設の整備に関する主要な都市計画の決定の方針</p>	<p>2) 都市施設の整備に関する主要な都市計画の決定の方針</p>
<p>2—1) 交通施設の都市計画の決定の方針</p>	<p>2—1) 交通施設の都市計画の決定の方針</p>
<p>① 基本方針</p>	<p>①基本方針</p>
<p>本区域では、北陸自動車道、一般国道8号、都市計画道路入善黒部魚津8号バイパス線、県道魚津生地入善線を南北方向の軸となる主要幹線道路として、また、県道黒部宇奈月線、都市計画道路新駅中新線を東西方向の主要幹線道路として位置づけ、都市間連携の強化を図る。</p> <p>市街地を南北に貫く主要幹線道路については、通過交通を処理するための代替路線の整備を進めるものとする。また、県東部の玄関口として、北陸新幹線新黒部駅（仮称）の整備が進められており、新川地域各地からの新たな交通量の増加が見込まれるため、アクセス道路の整備など利便性の向上に努める。</p> <p>今後も、都市間連携を担う主要幹線道路を適切に配置し、利便性の高い道路網の形成に努める。市街地内においては、都市の骨格となる幹線道路を適切に配置するとともに、歩行者や自転車にとっての快適な道路空間の確保に努め、安全で円滑な道路網の形成を図る。</p> <p>また、本区域の公共交通機関としては、鉄道や路線バスなどがあり、区域内にはJR北陸本線の黒部駅など2駅、富山地方鉄道本線の15駅がある。今後は、これら公共交通機関の維持・活性化を図り、高齢社会にも対応した安全で快適な公共交通サービスの確保に努める。</p>	<p>本区域では、北陸自動車道、一般国道8号<u>入善黒部バイパス</u>、<u>県道魚津入善線及び</u>県道魚津生地入善線を南北方向の軸となる主要幹線道路として、また、県道黒部宇奈月線、<u>市道新堂中新線</u>を東西方向の主要幹線道路として位置<u>付けづけ</u>、都市間連携の強化を図る。</p> <p>市街地を南北に貫く主要幹線道路については、通過交通を処理するための代替路線の整備を進めるものとする。また、県東部の玄関口として、北陸新幹線新黒部駅（仮称）の整備が進められており、新川地域各地からの新たな交通量の増加が見込まれるため、アクセス道路の整備など利便性の向上に努める。</p> <p>今後も、都市間連携を担う主要幹線道路を適切に配置し、利便性の高い道路網の形成に努める。市街地内においては、都市の骨格となる幹線道路を適切に配置するとともに、歩行者や自転車にとっての快適な道路空間の確保に努め、安全で円滑な道路網の形成を図る。</p> <p>また、本区域の公共交通機関は、<u>北陸新幹線の1駅、あいの風とやま鉄道線の2駅、富山地方鉄道本線の16駅があり、これら鉄道を補完する形で路線バスやデマンドタクシーが運行している。「鉄道を基軸とした公共交通網」を維持し、より出かけやすいまちづくりを進める観点から、今後は、駅やバス停の機能向上や中心市街地での高齢者にも利用しやすい移動手段の</u></p>

	<p><u>検討等、公共交通環境の整備に努めるとともに、公共交通の維持・活性化を図りながら、地域社会を支えていく持続可能な公共交通網の構築を目指す。</u></p>																																										
<p>②主要な施設の配置の方針</p> <p>南北方向の主要幹線道路として、都市計画道路入善黒部魚津8号バイパス線を配置することにより、市街地の通過交通を処理し、日常的な交通混雑の緩和を図る。併せて、このバイパスと北陸新幹線新黒部駅（仮称）とを連絡する都市計画道路新駅中新線や、都市計画道路新駅中新線と三日市地区とを連絡する都市計画道路前沢植木線を配置し、新駅と黒部市街地及び隣接市町村とのアクセス強化を図る。</p> <p>また、都市内においても、三日市地区と石田地区を連絡する都市計画道路南線や、宇奈月温泉地区へ向かう県道黒部宇奈月線、都市の骨格となる都市計画道路三日市新光寺線、都市計画道路国道8号線、都市計画道路黒部・宇奈月線等を配置することにより、都市内交通の円滑化を図るとともに歩行者にも配慮した道路網の形成を図る。</p> <p>公共交通については、黒部駅においてパークアンドライド駐車場の整備を検討するなど、交通結節点としての機能を高めることにより、利用者の利便性の向上を図る。また、北陸新幹線新黒部駅（仮称）については、乗継ぎのための富山地方鉄道本線の新駅や、駅前広場、パークアンドライド駐車場の整備等により、利便性の向上を図る。更に、路線バスの利用促進に努め、地域社会を支えていく公共交通サービスの確保に努める。</p>	<p>②主要な施設の配置の方針</p> <p>南北方向の主要幹線道路として、都市計画道路入善・黒部・魚津8号バイパス線を配置することにより、市街地の通過交通を処理し、日常的な交通混雑の緩和を図る。<u>あわせて</u>、このバイパスと<u>黒部宇奈月温泉駅</u>とを連絡する都市計画道路新駅中新線や、都市計画道路新駅中新線と三日市地区とを連絡する都市計画道路前沢植木線を配置し、<u>黒部宇奈月温泉駅</u>と黒部市街地及び隣接市町村とのアクセス強化を図る。</p> <p>また、都市内においても、三日市地区と石田地区を連絡する都市計画道路南線や、宇奈月温泉地区へ向かう県道黒部宇奈月線、都市の骨格となる都市計画道路三日市新光寺線、<u>都市計画道路前沢荻生線（仮称）（現 国道8号線）</u>、都市計画道路黒部宇奈月線等を配置することにより、都市内交通の円滑化を図るとともに、歩行者にも配慮した道路網の形成を図る。</p> <p><u>公共交通については、「鉄道を基軸とした公共交通網」を維持するため、在来線駅のパークアンドライド機能の向上や主要バス停での上屋整備などの待合環境の改善を図る。また、並びに、中心市街地において、高齢者にも利用しやすい移動手段の検討するとともに、さらには、公共交通全体の利用促進に努め、地域社会を支えていく持続可能な公共交通サービスの確保に努める。</u></p>																																										
<p>③主要な施設の整備目標</p> <p>優先的におおむね10年以内に整備することを予定する施設は次のとおりである。</p> <table border="1" data-bbox="403 1129 1421 1537"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>名称</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>道路</td> <td>3・3・10 入善黒部魚津8号バイパス線</td> </tr> <tr> <td></td> <td>3・3・13 新駅中新線</td> </tr> <tr> <td></td> <td>3・4・1 三日市新光寺線</td> </tr> <tr> <td></td> <td>3・4・2 前沢植木線</td> </tr> <tr> <td></td> <td>3・4・4 国道8号線</td> </tr> <tr> <td></td> <td>3・4・6 南線</td> </tr> <tr> <td></td> <td>3・4・11 黒部・宇奈月線</td> </tr> <tr> <td></td> <td>3・4・12 大黒・新天線</td> </tr> </tbody> </table>	種別	名称	道路	3・3・10 入善黒部魚津8号バイパス線		3・3・13 新駅中新線		3・4・1 三日市新光寺線		3・4・2 前沢植木線		3・4・4 国道8号線		3・4・6 南線		3・4・11 黒部・宇奈月線		3・4・12 大黒・新天線	<p>③主要な施設の整備目標</p> <p>優先的におおむね10年以内に整備することを予定する施設は、次のとおりである。</p> <table border="1" data-bbox="1546 1129 2564 1671"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>名称</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>道路</td> <td>3・3・10 入善黒部魚津8号バイパス線</td> </tr> <tr> <td></td> <td>3・3・13 新駅中新線</td> </tr> <tr> <td></td> <td>3・4・1 三日市新光寺線</td> </tr> <tr> <td></td> <td>3・4・2 前沢植木線</td> </tr> <tr> <td></td> <td>3・4・3 前沢大布施線</td> </tr> <tr> <td></td> <td>3・4・4 前沢荻生線（仮称）（現 国道8号線）</td> </tr> <tr> <td></td> <td>3・4・6 南線</td> </tr> <tr> <td></td> <td>3・4・11 黒部宇奈月線</td> </tr> <tr> <td></td> <td>3・4・12 大黒新天線</td> </tr> <tr> <td></td> <td><u>8・7・1 黒瀬川右岸歩行者専用道路1号線</u></td> </tr> <tr> <td></td> <td><u>8・7・2 黒瀬川右岸歩行者専用道路2号線</u></td> </tr> </tbody> </table>	種別	名称	道路	3・3・10 入善黒部魚津8号バイパス線		3・3・13 新駅中新線		3・4・1 三日市新光寺線		3・4・2 前沢植木線		3・4・3 前沢大布施線		3・4・4 前沢荻生線（仮称）（現 国道8号線）		3・4・6 南線		3・4・11 黒部宇奈月線		3・4・12 大黒新天線		<u>8・7・1 黒瀬川右岸歩行者専用道路1号線</u>		<u>8・7・2 黒瀬川右岸歩行者専用道路2号線</u>
種別	名称																																										
道路	3・3・10 入善黒部魚津8号バイパス線																																										
	3・3・13 新駅中新線																																										
	3・4・1 三日市新光寺線																																										
	3・4・2 前沢植木線																																										
	3・4・4 国道8号線																																										
	3・4・6 南線																																										
	3・4・11 黒部・宇奈月線																																										
	3・4・12 大黒・新天線																																										
種別	名称																																										
道路	3・3・10 入善黒部魚津8号バイパス線																																										
	3・3・13 新駅中新線																																										
	3・4・1 三日市新光寺線																																										
	3・4・2 前沢植木線																																										
	3・4・3 前沢大布施線																																										
	3・4・4 前沢荻生線（仮称）（現 国道8号線）																																										
	3・4・6 南線																																										
	3・4・11 黒部宇奈月線																																										
	3・4・12 大黒新天線																																										
	<u>8・7・1 黒瀬川右岸歩行者専用道路1号線</u>																																										
	<u>8・7・2 黒瀬川右岸歩行者専用道路2号線</u>																																										
<p>2—2）下水道及び河川の都市計画の決定の方針</p>	<p>2—2）下水道及び河川の都市計画の決定の方針</p>																																										
<p>①基本方針</p>	<p>①基本方針</p>																																										

<p>a 下水道</p>	<p>a 下水道</p>								
<p>快適な生活環境の形成や公共用水域の水質の保全など重要な役割を担うことから、整備を促進し、早期の完了を目指していく。</p> <p>汚水については、市街地、農山村などその地域の特性に応じた効率的な方法により計画的に処理施設の整備促進を図る。</p> <p>雨水については、円滑な排除を図り、浸水被害の防止に努める。</p>	<p>快適な生活環境の形成や公共用水域の水質の保全など重要な役割を担うことから、<u>未整備区域における整備促進を図るとともに、計画的かつ効率的な維持管理を図る。</u>また、下水道施設の耐震化や液状化対策を計画的に進める。</p> <p>汚水については、市街地、農山村などその地域の特性に応じた効率的な方法により計画的に処理施設の整備促進を図る。</p> <p>雨水については、<u>速やかな</u>排除を図り、浸水被害の防止に努める。</p>								
<p>b 河川</p>	<p>b 河川</p>								
<p>浸水被害の実績及びその危険性に応じて、各河川や地域の特性を踏まえた治水対策を実施する。また、より快適な河川空間を創出するため、河川環境の整備・保全を図る。</p>	<p>浸水被害の実績及びその危険性に応じて、各河川や地域の特性を踏まえた治水対策を実施する。また、より快適な河川空間を創出するため、河川環境の整備・保全を図る。</p>								
<p>②主要な施設の配置の方針</p>	<p>②主要な施設の配置の方針</p>								
<p>a 下水道</p>	<p>a 下水道</p>								
<p>汚水については、市街地及び市街地周辺における未整備地区の早期完了や北陸新幹線新黒部駅（仮称）周辺の整備を主体に進め、その進捗に応じて処理施設の増設を図るとともに、老朽化により処理機能が低下している施設については設備の更新を図る。</p>	<p>汚水については、市街地及び市街地周辺における未整備地区の早期完了に努める。<u>とともに、老朽化により処理機能が低下している施設については、設備の更新を図る。さらに、その進捗に応じて、処理施設の増設を検討する。</u>また、老朽化により処理機能が低下している施設については、<u>施設の更新を図る。</u></p>								
<p>b 河川</p>	<p>b 河川</p>								
<p>各河川や地域の特性を総合的に考慮して、最適な治水施設を配置するとともに、黒部川、黒瀬川などにおいては、地域の暮らしや歴史・文化との調和に配慮しながら、生物の生息・生育環境及び多様な河川景観の保全・創出に努める。</p>	<p>各河川や地域の特性を総合的に考慮して、最適な治水施設を配置するとともに、黒部川、黒瀬川などにおいては、地域の暮らしや歴史・文化との調和に配慮しながら、生物の生息・生育環境及び多様な河川景観の保全・創出に努める。</p>								
<p>③主要な施設の整備目標</p>	<p>③主要な施設の整備目標</p>								
<p>優先的におおむね10年以内に整備することを予定する施設は次のとおりである。</p> <table border="1" data-bbox="403 1388 1421 1482"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>名称</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>公共下水道</td> <td>黒部公共下水道</td> </tr> </tbody> </table>	種別	名称	公共下水道	黒部公共下水道	<p>優先的におおむね10年以内に整備することを予定する施設は、次のとおりである。</p> <table border="1" data-bbox="1549 1388 2567 1482"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>名称</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>公共下水道</td> <td>黒部公共下水道</td> </tr> </tbody> </table>	種別	名称	公共下水道	黒部公共下水道
種別	名称								
公共下水道	黒部公共下水道								
種別	名称								
公共下水道	黒部公共下水道								
<p>2—3) その他の都市施設の都市計画の決定の方針</p>	<p>2—3) その他の都市施設の都市計画の決定の方針</p>								
<p>住民への身近なサービスを提供する教育文化施設や医療施設、健康的で衛生的な生活の実現や循環型社会の構築に資するための供給処理施設などの都市施設について、まちづくりの上で位置づけが必要なものを、都市計画に定めるものとする。</p>	<p>住民への身近なサービスを提供する教育文化施設や医療施設、健康的で衛生的な生活の実現や循環型社会の構築に資するための供給処理施設などの都市施設について、まちづくりの上で位置づけが必要なものを、都市計画に定めるものとする。</p>								
<p>3) 市街地開発事業に関する主要な都市計画の決定の方針</p>	<p>3) 市街地開発事業に関する主要な都市計画の決定の方針</p>								
<p>①主要な市街地開発事業の決定の方針</p>	<p>①主要な市街地開発事業の決定の方針</p>								

<p>用途地域内では、良好な市街地形成を図るため、これまで、三日市地区の南西に隣接する牧野地区などで土地区画整理事業が実施されている。更に、中心市街地においては、三日市地区の東部に位置する三日市保育所周辺地区で、居住環境の向上を目指して土地区画整理事業が進められている。</p> <p>しかし、用途地域内であっても、都市基盤整備が不十分な地域においては未利用地が多く、ほとんど宅地化が図られていない地区も見受けられる。このような地区に対しては面的整備事業の導入を検討し、都市基盤の整備を図るものとする。更に、中心市街地においても、道路、公園などの公共空間の不足から居住環境の向上が課題となっている地区が残っており、これらに対しても土地区画整理事業の導入を検討していくものとする。</p>	<p>用途地域内では、良好な市街地形成を図るため、これまで、三日市地区の南西に隣接する牧野地区などで土地区画整理事業が実施されている。更に、中心市街地においては、三日市地区の東部に位置する三日市保育所周辺地区で、居住環境の向上を目指して土地区画整理事業を進められている。</p> <p><u>また、適切な土地利用が図られていない地区に対しては、面的整備事業の導入など、都市基盤の整備を検討する。更に、中心市街地においても、道路、公園などの公共空間の不足から居住環境の向上が課題となっている地区が残っており、これらに対しても土地区画整理事業の導入を検討していくものとする。</u></p>								
<p>②市街地整備の目標</p>	<p>②市街地整備の目標</p>								
<p>優先的におおむね 10 年以内に整備することを予定する市街地開発事業は次のとおりである。</p> <table border="1" data-bbox="418 789 1406 884"> <thead> <tr> <th>地区名</th> <th>事業</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>三日市保育所周辺</td> <td>土地区画整理事業</td> </tr> </tbody> </table>	地区名	事業	三日市保育所周辺	土地区画整理事業	<p>優先的におおむね 10 年以内に整備することを予定する市街地開発事業は、次のとおりである。</p> <table border="1" data-bbox="1561 789 2549 884"> <thead> <tr> <th>地区名</th> <th>事業</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>三日市保育所周辺</td> <td>土地区画整理事業</td> </tr> </tbody> </table>	地区名	事業	三日市保育所周辺	土地区画整理事業
地区名	事業								
三日市保育所周辺	土地区画整理事業								
地区名	事業								
三日市保育所周辺	土地区画整理事業								
<p>4) 自然的環境の整備又は保全に関する都市計画の決定の方針</p>	<p>4) 自然的環境の整備又は保全に関する都市計画の決定の方針</p>								
<p>①基本方針</p>	<p>①基本方針</p>								
<p>黒部川や片貝川、仁助川などを川辺環境軸と位置づけ、名水の里にふさわしい環境づくりを進め、水と緑のネットワークの形成を図る。</p> <p>また、立山連峰を背景とする雄大な黒部峡谷は日本を代表する自然景観となっていることから、黒部峡谷の入口となる山裾一帯を山辺環境軸と位置づけ、保全に努める。</p> <p>また、富山湾に面した松林や砂浜などに代表される海岸線を海辺環境軸と位置づけ、その保全・活用を図る。</p> <p>更に、ゆとりとうるおいのある快適で豊かな市民生活の実現を図るため、身近に利用できる公園・緑地の整備を推進する。</p>	<p>黒部川や片貝川、仁助川などを川辺環境軸と位置づけ、名水の里にふさわしい環境づくりを進め、水と緑のネットワークの形成を図る。</p> <p>また、立山連峰を背景とする雄大な黒部峡谷は、日本を代表する自然景観となっていることから、黒部峡谷の入口となる山裾一帯を山辺環境軸と位置づけ、保全に努める。</p> <p>また、富山湾に面した松林や砂浜などに代表される海岸線を海辺環境軸と位置づけ、その保全・活用を図る。</p> <p><u>更に、</u>ゆとりとうるおいのある快適で豊かな市民生活の実現を図るため、身近に利用できる公園・緑地の整備を推進する。</p>								
<p>②主要な緑地の配置の方針</p>	<p>②主要な緑地の配置の方針</p>								
<p>a 環境保全システムの配置の方針</p>	<p>a 環境保全システムの配置の方針</p>								
<p>黒部川をはじめ、多くの小動物が生息する小川や水路、区域の南東部に広がる緑豊かな丘陵地などの自然環境は、生態系の保護の観点から、その保全に努める。</p>	<p>黒部川をはじめ、多くの小動物が生息する小川や水路、区域の南東部に広がる緑豊かな丘陵地などの自然環境は、生態系の保護の観点から、その保全に努める。</p>								
<p>b レクリエーションシステムの配置の方針</p>	<p>b レクリエーションシステムの配置の方針</p>								
<p>地域住民の憩いと交流の場として、黒部市総合公園、宮野運動公園、中之口緑地、黒部川緑地などを総合的なレクリエーション拠点として位置づけ、その充実を図る。</p> <p>また、住民が身近に利用できる街区公園の整備を図る。</p>	<p>地域住民の憩いと交流の場として、黒部市総合公園、宮野運動公園、中ノ口緑地、黒部川緑地などを総合的なレクリエーション拠点として位置づけ、その充実を図る。</p> <p>また、<u>都市公園の再整備や管理運営に民間事業者の資金やノウハウを活用することを検討</u></p>								

	<p><u>するとともに、住民が身近に利用できる街区公園の整備を図る。また、中心市街地では、「歩きたくなる歩道」、「時間をかけて休みたくなる公園」など、魅力創出に向けた公園整備の検討を進める。</u></p>						
c 防災システムの配置の方針	c 防災システムの配置の方針						
<p>密集市街地においては、地域住民が安心して快適に暮らせるよう、面的整備事業等の活用を図り、緊急時には避難場所ともなる公園を適切に配置する。</p> <p>丘陵地においては、保安林指定の区域が各所にあることから、森林の持つ災害防止機能の維持・充実を図る。</p>	<p>密集市街地においては、地域住民が安心して快適に暮らせるよう、面的整備事業等の活用を図る。<u>また、災害時には、指定緊急避難場所ともなる公園を適切に配置する。</u></p> <p>丘陵地においては、保安林指定の区域が各所にあることから、森林の持つ災害防止機能の維持・充実を図る。</p>						
d 景観構成システムの配置の方針	d 景観構成システムの配置の方針						
<p>北アルプスの山岳景観や黒部川、扇状地に広がる田園景観などは本区域特有の景観資源であることから、その保全に努めるとともに、市民の憩いの場や観光の場としても活用する。</p>	<p>北アルプスの山岳景観や黒部川の<u>水辺景観</u>、扇状地に広がる田園景観などは、本区域特有の景観資源であることから、その保全に努めるとともに、市民の憩いの場や観光の場としても活用する。</p>						
③主要な緑地の確保目標	③主要な緑地の確保目標						
	<p><u>優先的におおむね10年以内に整備することを予定する主要な公園等は、次のとおりである。</u></p> <table border="1" data-bbox="1537 940 2558 1079"> <thead> <tr> <th>種 別</th> <th>名 称</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td><u>街区公園</u></td> <td><u>2・2・4 1号街区公園</u></td> </tr> <tr> <td></td> <td><u>2・2・5 2号街区公園</u></td> </tr> </tbody> </table>	種 別	名 称	<u>街区公園</u>	<u>2・2・4 1号街区公園</u>		<u>2・2・5 2号街区公園</u>
種 別	名 称						
<u>街区公園</u>	<u>2・2・4 1号街区公園</u>						
	<u>2・2・5 2号街区公園</u>						